

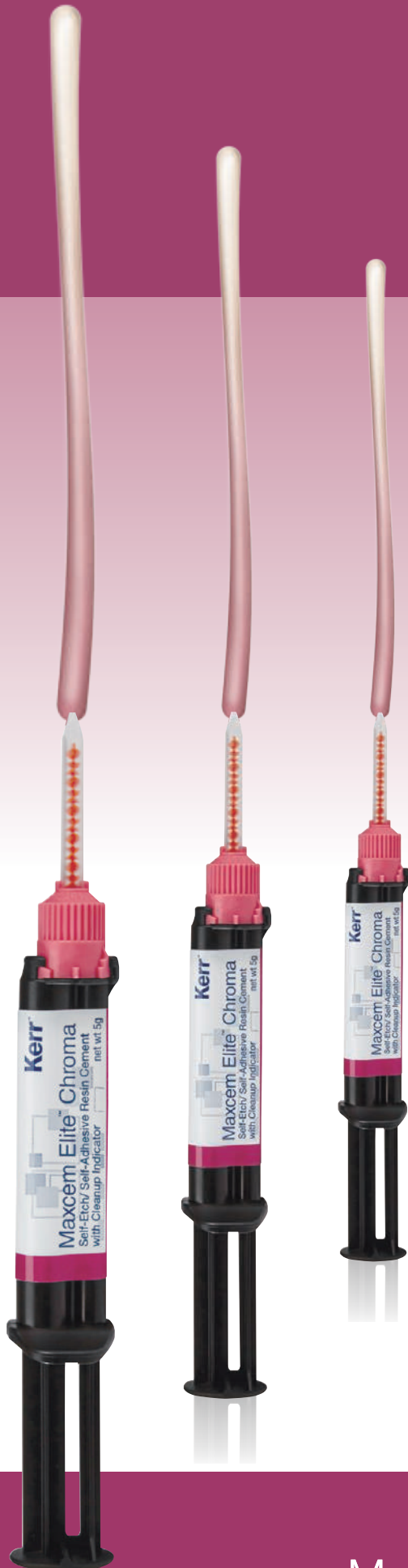
マックスセム エリート クロマ

接着性レジンセメント

Kerr™

RESTORATIVES

# お客様の声



## ピンクが消える!

余剰セメント除去のタイミングです。

ピンクだけではない  
クロマの臨床メリットとは?

Maxcem Elite™ Chroma  
Self-Etch/ Self-Adhesive Resin Cement with Cleanup Indicator





# マックスセム エリート クロマについて、 実際にお試しいただきました。

今井 健二 先生

愛知県 上前津歯科医院



光を透過しにくいメタルやクラウンを設置する臨床症例では、クロマにあえて光照射せず化学重合が進行するのを待つと、ややピンク色を残した白くなったタイミングで補綴物内部も化学重合がしっかりと進んでいると判断できるため、そこで初めて安心して余剰セメントを除去することができる。

従来のセメントであればセメント残留を危惧するあまり、本来のタイミングよりも早く余剰セメントを除去してしまうことがある。これは、補綴物内の未重合セメントへも影響があり、将来的な補綴物脱離の一因ともなり得る。クロマを使うことによって、重合度合を目視確認でき、最も良いタイミングでの余剰セメントの除去が可能となった。また、カラーインジケーターだけに目が向きがちであるが、高い接着力と非常に低コストであることも注目すべきである。

植松 厚夫 先生

東京都 ウエマツ歯科医院



クロマは、除去のタイミングを視覚的にわかるという点で衛生士にもメリットが大きい製品ではあるが、数々の臨床医へのメリットもある。流れすぎず、硬すぎず、適度な粘調度であり、クラウン装着時の操作性もよかった。歯質や補綴物への前処理が要らないセルフアドヒーシブであり、簡便な取り扱いができ、タイミングも合わせやすかった。今回はクリアシェードを試してみたが、もう少し色調のバリエーションが必要な場合は、ホワイト、イエローを使用してもよいと思われる。

遠藤 義樹 先生

岩手県 よしき歯科クリニック



私が接着性レジンセメントを選択するうえで最も重要視していることは、余剰セメントの除去のしやすさです。他社製品では除去のタイミングを習得するのが容易ではなく、光の照射方向や距離、時間でばらつきが生じることがストレスでした。その点、本製品はカラーインジケーターという基準を有していることから、ストレスなく容易に余剰セメントの除去が行えることで大変満足しています。また、アミンを含有していないことから経時的な色調変化の恐れがなく、X線造影性を有する点も気に入っております。不満な点はありません。

梶山 崇先生

千葉県 かじやま歯科クリニック



接着手順ですが、歯面処理等の前処理が不要な為、**操作が簡便でテクニカルエラーが起きにくい**点がよいと思います。セルフアधीシブタイプで不安視される接着力も十分にあるようで、安心して使用できると思いました。操作性ですが、色調が変化するので、余剰セメント除去のタイミングがわかりやすく、**多数歯の接着や隣接面のセメント除去が視覚的にわかり**、また、セメントも一塊で除去できるため取りやすいと感じました。ただし、硬化後のセメントが白色のためセメントラインが多少気になりました。総合的には**接着手順、操作性等非常によいレジンセメント**だと思います。

勝部 義明先生

大阪府 カツベ歯科クリニック



硬化と共に色が変わり、完全硬化で本来の色調に戻ることは、**口腔内の温度や湿度に左右されたとしても硬化状況が目に見えてわかり**、臨床での**不安が解消**されました。そして、**なによりも良かったのは、かなりの頻度で隣接面を含めて一塊で余剰セメントを除去できた**ことです。隣接面セメント除去時のストレスから解消されることが多いのはとてもありがたいことです。

木下 貴雄先生

兵庫県 木下歯科医院



カラーインジケーターによって余剰セメント除去の適切なタイミングを測ることができるため、セメント除去作業の能率を向上させることができる。また、多数歯の補綴物を同時にセメンテーションする際に、**ミキシングチップ内のセメントの色調変化によって、2本目以降の補綴物におけるセメントの硬化状態を把握**することができる。さらに、硬化が進行したセメントを排出する量を視覚的に判断できるため、**常に新鮮なセメントにてスムーズな作業を行うことができる**と同時に、**破棄するセメント量を最小限に抑える**ことができる。

木ノ本 喜史先生

大阪府 きのもと歯科



硬化によりセメントの色が変わり除去のタイミングが分かりやすいというのは想像されることである。そこで実際に使用して**クラウンの内面にセメントを塗ったところ、セメントの過不足が分かりやすい**というのが**新たな発見**であった。クラウンを装着したときにマージン全周からセメントが溢れ出てこなければ、セメントで封鎖できていないマージンが存在することになり予後に影響する。そのためにアシスタントはクラウン内面に不足なく均等にセメントを塗布する必要がある。しかし、この**「不足なく均等に」を確認することは難しかったが、クロマではセラミック系のクラウンでも色調の違いで一目瞭然**であった。**テクニカルエラーの払拭が期待される製品**であると感じた。



# マックスセム エリート クロマについて、 実際にお試しいただきました。

小池 軍平 先生

神奈川県 小池歯科医院



従来、レジンセメントの硬化除去タイミングは術者の感覚で行っており、このタイミングを別の形で知ることができれば残存セメントを防ぐことができるのではと考えられます。これまで高い評価を得ているマックスセム エリートにカラーインジケーターという全く新しい機能が追加されたクロマは、ピンク色の変化を目で見てタイミングを知ることができます。特に、**7番遠心側を伴うケースなど目視が難しい部位でのクロマの使用は、その除去性能の高さから術者のストレス軽減につながり、残存セメントの弊害から患者さんを守ります。**

篠原 俊介 先生

埼玉県 シノハラ歯科医院



CAD/CAMの普及や健康保険の導入と共に接着性レジンセメントのニーズが高まり、各社多数販売されるようになってきた。しかし**接着性レジンセメントの求められる特性として、デュアルキュアつまり光重合と化学重合の両方の硬化システムが要求されるが、どの製品も一応に重合システムが完結しない。**製品によっては、光重合には素早く反応していくが、化学重合が一向に進まないものもある。オールセラミックであっても光の透過性が悪いものやオペーク色陶材によって光を遮断されるケースもあるため、確実な化学重合が必要となる。そこで今回接着性レジンセメントの**クロマを室内環境と光を遮蔽した環境で適量出し放置したところ、両環境ともセメントの色がピンクから白色に変化し、確実な硬化を認めた。**この特性を生かせば**メタルの修復からオールセラミックまで網羅する万能なセメント**ということになる。

下田 孝義 先生

東京都 ハートフル総合歯科グループ



ハートフル総合歯科グループは、CAD/CAMを使用したオールセラミック修復を7年連続年間2000症例以上行っております。その中で**あらゆるセメントを使用してきましたが、現在は、クロマに落ち着いてきております。**セルフアドヒーシブセメントということで、**歯肉縁下の際の装着にも有効**である点を非常に評価しております。選択できる色調もありますが、**クリアーだけ用意すればほとんどの症例をまかなうことが可能だ**と感じております。セメントの評価を行う上で、重要なのは操作性の素晴らしさ。仮重合での余剰セメント除去も簡便です。**オールセラミック修復を行う上で問題になりやすい、「痛い・しみる」などの不定愁訴などの問題もほとんどありません。**

高野 麻弥子 さん

神奈川県 ヒロ横浜デンタル



当院では、歯科医がセットして、余剰セメントを除去した後、衛生士がダブルチェックを行うようにしています。なぜならば、歯科医はコンタクト等の余剰セメントを気にされますが、**衛生士としてはペリオの原因となる縁下の余剰セメントに留意**するからです。他院で治療を受けた患者様が来院された際に、縁下に残留セメントを認めることがあり、硬化したセメント除去に苦慮しています。

クロマの接着力、価格（gあたりの単価）はさることながら、**衛生士が目で見ても余剰セメント除去のタイミングを知ることができるメリットは大きい**と考えます。

栢原 しほみ 先生

東京都 論デンタルオフィス



ピンク色の変化は比較的判りやすく、セメント除去の判断がしやすかったです。**コンタクト部分の除去が簡単**になったように思えました。セメントが一塊で除去できたので、**口腔内に落ちてもとりやすかった**です。

完全に白色になると硬まりすぎて除去できませんでした。濃いピンク色の間はなるべく触らず、急に色褪せ薄いピンク色になったタイミングが除去には良さそうです。また、時間短縮のために高出力の光照射をあてると瞬間的に白くなってしまいますので、少し距離をとって照射してみたいと思います。

豊山 洋輔 先生

神奈川県 聖母歯科医院



レジン系セメントの残留は、頭の痛い問題であり、これだけでレジン系セメントに拒否反応を示す方もいたほどである。また、マイクロスコープの普及により、残留セメントの除去が容易になったのは事実であるが、視認性の向上により、セメント除去の容易性が今までより要求されるようになったのは一種皮肉なことでもある。

本製品において、**硬化の度合いが視認可能になり、診療のクオリティーが向上した**のは言うまでもない。とにかく**残留セメントの除去の容易さにおいては従来品とは一線を画すものであり、どんどん活用していくつもり**である。

泥谷 高博 先生

福岡県 ひじや歯科医院



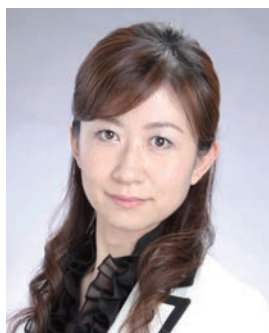
私はこのセメントを主に**セラミック・ジルコニア・メタルクラウン、ファイバーポスト、メタルコア**に使用しています。歯面処理なしのセメントはその性質上、接着操作が接着力に左右されることが大きいと考えています。クロマは、カラーインジケータやOne Peel™クリーンアップなど、その**パフォーマンスを最大に発揮できる工夫がこれでもかというくらい**になされており、安心して使用できるものになっていると思います。



# マックスセム エリート クロマについて、 実際にお試しいただきました。

前畑 香 先生

神奈川県 ナカエ歯科クリニック

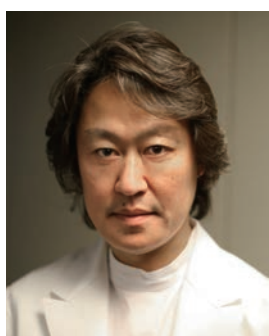


近年の接着性レジンセメントは、接着力の強化や臨床用途の拡大を追求する反面、余剰セメント除去の難しさが問題視されてきた。なぜならば残留した余剰セメントが、う蝕や歯周疾患を惹起する可能性があるからだ。そこで修復補綴物の接着にOne Peel™クリーンアップ性能をもつクロマを用いることで、一塊で余剰セメントを除去することができるため、**細かく粉砕しながらセメントを除去するよりも、余剰セメントの残留を防ぐことができる。**

さらに色調変化で物性の変化を知らせるカラーインジケーターを付与する接着性レジンセメントは、**クロマが唯一の製品**である。クロマのカラーインジケーターは、余剰セメントの除去適正時間を視覚的に判断する機能として用いられるため、結果として余剰セメントの残留を防ぐことに繋がる。なお、私見として本品の使用に際し、0.5-1秒の光照射（タックキュア）を行うことが望ましいと考える。

宮崎 真至 先生

東京都 日本大学歯学部保存学教室修復学講座



余剰セメント除去不良による歯冠修復物への影響は論文でもしっかり記載されています（J Periodontol. 2009;80(9):1388-1392）。

口腔内の温度の影響を受けず重合進行と共に色褪せる「カラーインジケーター」の採用、隣接面でもきれいに一塊で除去できる「One Peel™クリーンアップ」機能、歯質のカルシウムや金属に対し接着力を発揮する「GPDM機能性モノマー」、これら**Kerrでしかできない技術の結集がクロマ**です。**ユーザーフレンドリーな自己発信型セメント**とも言えるでしょう。また、セラミックの場合、通常セメントでは化学結合のために必要なシランプライマー処理が、**クロマでは機械的結合に加え、GPDMの優れた水素イオン結合と共有結合のために、前処理不要**なのも特徴です。これが長期接着耐久性に寄与しています。

山本 司将 先生

愛知県 やまもと歯科醫院



セメントの硬化反応中の硬化度合は視認することができない。**修復物の装着操作はアシスタントとの共同作業**であり、修復物にセメントを盛る、口腔内に挿入、支台歯に圧接、余剰セメントの除去という操作過程において、セメントの硬化度合をモニタリングできるカラーインジケーターの存在はいわば“硬化反応の可視化”である。接着セメントの問題であった高い接着力がゆえに硬化後の余剰セメントを取り残してしまうことをクロマは防止でき、われわれは**スタッフとの情報共有という新たなツール**を手にするようになった。

また、“修復物を長期に安定させる接着力”だけでなく、硬化後では視認が困難なクリアー色のセメントの不完全な除去によるセメント残存を防ぐことができるため、**歯周組織に為害作用をおよぼさないセメントとして、修復歯の寿命を延ばす可能性**を持っている。

## 吉野 弘三先生

東京都 福石歯科医院



最近、審美治療におけるハイブリットレジンやセラミックスなどのセメンティングは、歯面処理が不要なセルフエッチング・アドヒーシブタイプのデュアルキュアレジンセメントが多く使用されている。しかし、セメントのゲル化のタイミングがわからなかったり、短時間の光照射でセメントが硬化してしまい、セメントアウトが困難になった経験が多いと思う。

クロマは、セメント自体に配合されたピンクカラーの変化により、**目視でゲル化のタイミングをキャッチできる**ので、セメントアウトがとてもスムーズにできるようになった。そして、硬化途中の光照射は行わず、セメントのピンクカラーが消えてから指示時間の光照射を行うことで、**慌てずに確実なセメンティングが可能**になった。

## 脇 宗弘先生

大阪府 脇歯科医院



接着性レジンセメントを用いる場合、**余剰セメントの除去が修復物の長期予後の安定を左右する**と考える。除去のタイミングを知るには実際のところ多くの臨床例を経験し、その材料を使いこなさないと感覚的に判断するのは難しいと考えられがちである。しかし、クロマは、硬化時にセメントの色調の変化が起こる特性を持っている為、視覚的に重合硬化の具合を見極めることが出来るので、**余剰セメント除去時におけるテクニカルエラーを防ぎ、効率的にチェアタイムを使えるユーザーフレンドリーな前処理無しの接着性レジンセメントである**と言える。

## 鷺野 崇先生

静岡県 石川歯科



通常、セメント除去について、「セットから何分」または「何秒光照射」と取扱説明書に記載されていますが、これは大まかな目安に過ぎません。

**実際には温度やチェアライト、光照射器の光量や照射距離などにより誤差を生じ、除去のタイミングを誤ると様々な問題が生じます。**レジンセメントをご使用の先生方は必ず経験されているのではないのでしょうか。

クロマのカラーインジケーター機能は重合反応の進行、ひいては、余剰セメント除去の適切なタイミングを視覚で確認でき、非常に有用で大変わかりやすく、歯科医師が抱えていたセメント除去における緊張とストレスを大きく緩和してくれます。経時的に劣化・黄変する**アミンの含有がなく、色調安定性**にも優れています。

## ■ マックスセム エリート クロマを動画でご紹介

初めて採用されたカラーインジケーター機能によるメリットについて (7分06秒)

宮崎 真至 先生 日本大学歯学部保存学教室



<https://youtu.be/PVNTpo2Lpao>

セメント除去にストレスを感じることはないですか? (1分21秒)

鷺野 崇 先生 静岡県 石川歯科



[https://youtu.be/ck22AZw4W\\_w](https://youtu.be/ck22AZw4W_w)

# 余剰セメント除去に起因するリスクをなくし、 より適切な診療を支援いたします。

## 特徴1

### ゲル化を知らせるカラーインジケーター採用 カラーインジケーターチャート

弊社独自のOne Peel™クリーンアップ機能により、  
一塊で容易に余剰セメントを除去できます。



濃い  
ピンク色



薄い  
ピンク色

ごく僅かな  
ピンク色

ピンク色  
消失



スタート



約2分経過

約4分経過

※時間は使用条件により若干異なります。

## 特徴2

### 優れた色調安定性

## 特徴3

### 高い接着力

## 特徴4

### デュアルキュアタイプ

#### マックスセム エリート クロマ リフィル クリアー・ホワイト・イエロー

シリンジ5g	2本
ミキシングチップ	
・Aタイプ レギュラー ピンク	8本
・Aタイプ ワイド ピンク※	8本
・イントラオーラルチップ	8本

標準価格 **13,600円**  
1本あたり6,800円  
1gあたり1,360円

#### マックスセム エリート クロマ クリアー 4本パック クリアー

シリンジ5g	4本
ミキシングチップ	
・Aタイプ レギュラー ピンク	16本
・Aタイプ ワイド ピンク※	8本
・イントラオーラルチップ	8本
・ルートキャナルチップ	8本

標準価格 **18,000円**  
1本あたり4,500円  
1gあたり900円

#### マックスセム エリート クロマ 8本パック クリアー・ホワイト・イエロー

マックスセム エリート  
クロマ リフィル ×4  
リフィル4個の同色8本セットです。

標準価格 **28,000円**  
1本あたり3,500円  
1gあたり700円



※ミキシングチップ Aタイプ ワイド ピンクの  
単品販売はありません。  
補充用はセメント用ミキシングチップ  
Aタイプ ワイドをお求めください。

管理医療機器 歯科接着用レジンセメント  
医療機器認証番号: 228ADBZ00053000

商品のご注文は、お取引歯科材料店様までお願いいたします。

**Kerr** カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社  
〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー15F  
カー製品担当 TEL:03-6866-7272 FAX:03-6866-7273  
<http://www.kavo.jp>